

定期検査中の福島第一原子力発電所 2 号機圧力抑制室内における
金属板の発見・回収について

<概要>

(事象の発生状況)

- ・平成 20 年 4 月 6 日、定期検査中の 2 号機圧力抑制室において、金属板（長さ約 50 cm×幅約 3 cm）を発見し回収しました。

(安全性、外部への影響)

- ・機器への影響はなく、安全性に問題はありません。
- ・本事象による外部への放射能の影響はありません。

(今後の対応)

- ・異物混入防止対策を徹底します。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分その他（透明性を確保する観点）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

当所 2 号機（沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット）につきましては、平成 20 年 3 月 12 日より第 23 回定期検査を実施しておりますが、圧力抑制室内のプール水浄化作業を実施していた協力企業作業員が、4 月 6 日午後 5 時 30 分頃、同プール内に金属板（長さ約 50 cm×幅約 3 cm）を発見したことから、その後午後 7 時 10 分頃、回収しました。

確認の結果、圧力抑制室内には歩行用の床（グレーチング）が設置されておりますが、当該金属板はこの手すりの一部であることがわかりました。

当該金属板は、第 19 回定期検査（平成 13 年度）以前に圧力抑制室内の作業にともない、手すりの一部を干渉物として撤去したものが圧力抑制室内に落下したものと推定しております。

2. 今後の対応

今後も引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。

3. 安全性、外部への影響

機器への影響はなく、安全性に問題はありません。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上